

# 地方独立行政法人新小山市市民病院

平成26事業年度の業務実績に関する評価結果

総合評価

平成27年8月

地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会

## 目 次

年度評価の方法	1
I 全体評価	2
II 大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	3
(1) 評価結果と判断理由	
(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	5
(1) 評価結果と判断理由	
(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等	
第3 財務内容の改善に関する事項	6
(1) 評価結果と判断理由	
(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等	
第4 その他業務運営に関する重要事項	7
(1) 評価結果と判断理由	
(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等	
III その他 全体的な意見	7

## 年度評価の方法

地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）では、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項の規定に基づき、平成25年4月1日に設立された地方独立行政法人新小山市市民病院（以下「法人」という。）の平成26事業年度に係る業務実績に関する評価を行った。

評価を行うにあたっては、「地方独立行政法人新小山市市民病院に対する評価の基本方針」並びに「地方独立行政法人新小山市市民病院の年度評価実施要領」（※いずれも平成25年10月2日評価委員会にて決定）に基づき、「項目別評価（小項目評価・大項目評価）」と「全体評価」により評価した。

具体的には、「項目別評価」では、年度計画に定めた事項ごとに法人による自己評価をもとに、ヒアリング等を通じて、自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた進捗状況を確認した。また、「全体評価」では、項目別評価の結果等を踏まえつつ、法人化を契機とした病院改革の取り組みなども考慮しながら、中期計画等の進捗状況について総合的な評価を行った。

### 【評価について】

大項目評価は、小項目評価結果、各重点項目の達成状況並びに特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行う。

- S … 特筆すべき進捗状況にある（4.5以上5.0以下）
- A … 計画を上回って進んでいる（3.5以上4.4以下）
- B … 計画どおり進んでいる（2.5以上3.4以下）
- C … やや遅れている（1.5以上2.4以下）
- D … 重大な改善事項がある（1.0以上1.4以下）

各段階の評価は、大項目ごとの小項目評価の評点の平均点（少数点以下第2位四捨五入）で区分する。

## I 全体評価

平成26事業年度の業務実績については、4つの大項目評価である「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」「第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」「第3 財務内容の改善に関する事項」「第4 その他の業務運営に関する重要事項」がすべて、B評価（計画どおり進んでいる）であった。

財務内容においては、厳しいとされる法人移行後2年目においても、地方独立行政法人制度の特徴である機動性や柔軟性を最大限に発揮し、収益の確保と費用の節減に取り組んだ結果、約1億3,600万円の継続黒字となり、当初の計画どおり財務内容を大きく改善させ、安定した経営基盤が構築されている。

一方、小児における医療の充実は努力をされているが、周産期医療については未整備であるため引き続き産科医師確保について努力が必要である。

地域医療連携等の必要機能は維持・強化しており、特に、紹介率・逆紹介率については、計画を上回る実績となったことなどをあげ、法人の公共性及び経済性を両立させた健全な経営が継続して行われていると判断した。

以上のことから、平成26事業年度の業務実績としての全体評価は、中期目標・中期計画の達成に向けてすべて計画どおり進んでいると評価をした。

## II 大項目評価

### 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

#### (1) 評価結果と判断理由

小項目評価結果の平均点は3.24であり、また、以下のことを考慮し、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」に関する大項目評価は、**B評価（計画通り進んでいる）**が妥当と判断した。

※法人自己評価を評価委員会において変更した小項目評価については、以下の2点であった。

- ①4－(3) 積極的な情報発信の法人評価3を4とした。
- ②5－(1) 医療安全対策等の徹底の法人評価3を4とした。

#### (2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

##### ①救急医療の取組み [1－(2)]

救急搬送患者の入院数は、順調に増加しており、二次医療機関としての役割が順調であると評価できる。

##### ②4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）への対応 [1－(3)]

糖尿病専門医を確保できたことや、画期的な企画をしていることなど評価できる。糖尿病栄養食事指導件数が1,002件増えていることや、脳卒中ホットライン体制の整備がされたことなどが評価できる。

③小児・周産期医療の充実 [1 - (4)]

小児における医療の充実は努力されているが、産科が未だ未整備であるため、新病院での再開に向け継続して医師確保に努めていただきたい。

④災害時等における対応 [1 - (5)]

年度計画通りであるが、災害拠点病院を補完する医療機関として、DMATは未整備なので、今後の整備を期待する。

⑤健診機能の充実 [1 - (6)]

積極的な企業訪問や地域住民への周知など評価できる。

企業健診、一般健診、特定・生活機能健診が計画値以下ではあるが、人間ドック及び脳ドックは計画値を上回っており、今後の新しい健診センターに期待したい。

⑥保健・介護・福祉との連携 [1 - (7)]

院長をはじめとして、職員の積極的な健康講座の開催や指導、相談事業の活動は評価できる。

保健・介護・福祉との連携については、これから更なる充実を望む。

⑦優秀な医療スタッフの確保 [2 - (1)]

医師については、総合診療科2名及び4科4名合わせて6名の増員となったが計画をやや下回っているため引き続き確保に向け努力してもらいたい。

なお、看護師の確保についても計画値以下であるため同様の対応を望む。

⑧医療職等の専門性・医療技術の向上 [2 - (2)]

産科がいつ開設されてもいように助産師の出向研修などに参加していることや認定看護師の増加がなされたことが評価できる。

専門医の数については計画を大幅に下回っており、さらなる努力が必要である。

⑨利便性及び快適性の向上 [3 - (2)]

早朝採血は定着してきており評価できる。会計でのカード決済を積極的に導入しており、利便性の向上が図られている。

⑩患者満足度の向上 [3 - (3)]

「満足」及び「ほぼ満足」の割合は年度計画に比して高いが、入院患者の回答率が50%というの低いと感じる。アンケートについては、退院後に無記名で郵送できるなど、もう少し工夫が必要である。

⑪職員の接遇向上 [3 - (4)]

研修参加人数が減っているのは残念だが、接遇目標設定は具体的でよい。あいさつ運動も全職員参加で行われており評価できる。

積極的に接遇向上に努めており、以前に比べかなり向上している。

⑫ボランティア制度の活用 [3 - (5)]

参加者は昨年度より減少しているが、多ければ良いわけでないので妥当性はある。患者と接するにあたり、諸処の配慮がされていると判断できる。

ボランティアなので計画を上回る人材の確保というのは難しいと思うが、引き続き確保に努めてもらいたい。

⑬地域医療機関との連携 [4- (1)]

年度計画以上の紹介率・逆紹介率の結果から、27年5月に地域医療支援病院として県から認定されたということは、さらに信頼できる病院となってきたということで評価できる。しかし、数字だけではなく連携の質を高めることも検討していただきたい。

⑭地域医療への貢献 [4- (2)]

計画を大幅に上回っており、積極的に地域医療活動しているとして評価できる。

⑮積極的な情報発信 [4- (3)]

新小山市市民病院だよりは、病院の取組みを多数掲載しており、発行ごとに内容も充実し、情報発信に努めていると評価できる。

地域に出向いての健康講座やミニ講演会等、医療に関する情報を積極的に発信している点が評価でき、法人評価3を4とした。

⑯医療安全対策等の徹底 [5- (1)]

インシデント・アクシデントの届出がうまく行われていると評価できる。

また、古い建物だと院内感染率が増える傾向にあるが、全国平均より感染率が低いのは、感染看護がしっかりされているということで大変評価でき、法人評価3を4と評価した。

【小項目評価の集計結果】

分野	評価 小項目数	5	4	3	2	1
		計画を大幅に上回って実施している	計画を上回って実施している	計画を順調に実施している	計画を十分に実施できていない	計画を大幅に下回っている
1 医療サービスの向上	7		1	6		
2 医療提供体制の整備	2			2		
3 患者・住民サービスの向上	5			5		
4 地域医療連携の強化	3		3			
5 信頼性の確保	4		1	3		
合計	21		5	16		

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### (1) 評価結果と判断理由

小項目評価結果の平均点は3.0であり、また以下のことを考慮し、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」に関する大項目評価は、**B評価（計画通り進んでいる）**が妥当と判断した。

※評価委員会評価はすべて同じ評価であった。

### (2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

#### ①事務経営部門の強化 [1 - (2)]

積極的に委託業務の縮小、経験者の事務職員、診療情報管理士、医師事務作業補助者の採用等を行っており、事務部門の更なる充実を図られた点が評価できる。

#### ②事務経営部門職員の計画的採用 [1 - (3)]

小山市からの派遣職員の帰任計画などを立てたうえでの事務部門の確立が評価できる。

#### ③意欲を引き出す人事給与制度の構築 [2 - (1)]

評価基準に沿った人事評価を望む。

#### ④働きやすい職場環境の整備 [2 - (3)]

保育所の運営拡大は評価できるが途上である。病児保育が遅れており、今後順調に進めていただきたい。臨時職員と正職員の格差があるので、是正に向けた取組みを期待する。

### 【小項目評価の集計結果】

分野	評価 小項目数	5	4	3	2	1
		計画を大幅に上回って実施している	計画を上回って実施している	計画を順調に実施している	計画を十分に実施できていない	計画を大幅に下回っている
1 業務運営体制の構築	3			3		
2 魅力ある病院づくり	3			3		
合計	6			6		

### 第3 財務内容の改善に関する事項

#### (1) 評価結果と判断理由

小項目評価結果の平均点は3.0であり、また以下のことを考慮し、「財務内容の改善に関する事項」に関する大項目評価は、**B評価(計画どおり進んでいる)**が妥当と判断した。

※法人自己評価と評価委員会評価はすべて同じ評価だった。

#### (2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

##### ①経営基盤の強化 [1]

入院患者数と平均在院日数の減少から、病床稼働率が8.1ポイント低下したが、それに危機感を持ち積極的な戦略を講じたため効を奏している点が評価できる。

##### ②収益の確保 [2 - (1)]

入院単価が計画を大幅に上回ったため、入院収入及び外来収入の総合計では計画を上回った点は評価するが、それ以外の項目は計画を下回っているため、引き続き向上に努めていただきたい。

##### ③費用の節減 [2 - (2)]

計画と実績を適切に比較できるように同様の算定方法を採用する必要がある。材料費及び経費については総額が計画を下回っており、経費節減がなされており評価できる。

#### 【小項目評価の集計結果】

分野	評価 小項目数	5	4	3	2	1
		計画を大幅に上回って実施している	計画を上回って実施している	計画を順調に実施している	計画を十分に実施できていない	計画を大幅に下回っている
1 経営基盤の強化	1			1		
2 収益の確保と費用の節減	2			2		
合計	3			3		



#### 第4 その他業務運営に関する重要事項

##### (1) 評価結果と判断理由

小項目評価結果の平均点は3.0であり、また以下のことを考慮し、「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価は、**B評価（計画通り進んでいる）**が妥当と判断した。

※法人自己評価と評価委員会評価はすべて同じ評価だった。

##### (2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

###### ①新病院建設に向けた取組み

引き続き建築費の価格折衝に取り組んでもらいたい。

#### 【小項目評価の集計結果】

分野	評価 小項目数	5	4	3	2	1
		計画を大幅に上回って実施している	計画を上回って実施している	計画を順調に実施している	計画を十分に実施できていない	計画を大幅に下回っている
新病院建設に向けた取組み	1			1		
合計	1			1		

### Ⅲ その他 全体的な意見

地域完結型医療を実現していくためには、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャーなど多職種との連携が重要であるため、小山市の拠点病院である新小山市市民病院がリーダーシップを取り、今後より一層の連携強化に取り組むことを期待する。

平成26年度に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備に関する法律」が制定され、平成28年度には診療報酬改定が予定されるなど、医療政策の変化が著しいことから、それらの状況を勘案し、より良い医療を提供していくため計画を柔軟に見直していく必要があると考える。